

令和7年度 学校自己評価システムシート

東松山市立松山中学校

目指す学校像	生徒の夢を育み、笑顔と感動あふれ、地域に信頼される学校
--------	-----------------------------

年度目標			学校自己評価					学校運営協議会での評価		「学校運営協議会での評価」を受けて
評価項目	具体的方策	評価指標	A+Bの割合			目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策 〔次年度へ継続する課題・改善していくための方向性〕	実施日 令和8年2月5日	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等 (※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
			生徒	保護者	職員				学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	
組織運営の充実	○目指す学校像の具現化 ○積極的な生徒指導の推進	1 学校は、目指す学校像の実現に努め、教育活動（授業、学校行事、部活動等）を進めている。	98.3%	96.4%	96.6%	・校長の目指す学校像を受けて学年目標を設定し、学級目標に落とし込む形になっている。生徒は目標をもって学習に取り組むことができている。教職員も生徒一人一人を積極的に支援している。 ・教職員は学校行事や部活動にも力を入れ、それが学年、学級経営に影響していくことも理解して指導にあたっている。	A	・教職員としては、生徒一人一人が抱えている課題に対して向き合うことができていると感じているところもある。数字から判断して、よりよい学校教育を求める姿勢が表れている。	・目指す学校像が、全ての人に具体的に理解され、高い評価を受けており素晴らしい。 ・職員にも校長経営方針がしっかりと理解され、職員も実現に向けて、それぞれの立場で努力した成果である。 ・基本的には、学校の方向性について、次年度においても同じ考えでよいのではないかと。	・学校全体でQUTを活用することを継続し、よりよい学級づくりに生かす。 ・校外学習や修学旅行など、学校の外での活動をしたとき、社会の中での立ち振る舞い方に松山中学校生徒の本質が見えた。立派な姿勢や態度から成長を感じることができる。今後、学校の外での活動を多く設定していくことで、社会人としての資質を高めていきたい。
		2 学校は、生徒一人一人のよさを認め、伸ばし、社会の中で自分らしく生きることを目指して、教育活動に取り組んでいる。	98.8%	94.1%	89.6%					
基礎学力の定着	○授業改善 ○個に応じた指導と補充学習	3 学校は、話し合い活動やタブレット端末の活用などを通して、思考を深める授業づくりに努めている。	97.1%	95.1%	75.8%	・教職員の研修を通して、国が目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を行ってきた。授業の中で、ペアやグループでの話し合い活動を取り入れ、生徒が主体的に学習に取り組むことを目指している。 ・学力調査の結果を教職員で分析し、校内研修の中で具体的な改善策について話し合い、実践してきた。	A	・タブレット端末の保守整備が追いつかないため、端末の数が不足している。不足した場合、生徒のものを優先するため、教師用も不足している。教師用が無ければ活用が進むはずもなく、ICT活用が促進されないと感じている教職員が多いと思われる。 ・学力調査の結果を受けて指導をしているが、結果につなげていない。2学期の学校行事の予定が過密になっていることなどの課題もあり、学校全体で改革していくことが求められる。	・管理者が、日々生徒の実態をよく掴み、様々な学力調査や定期テストの結果をしっかりとときめ細やかに分析し、教職員と共に研修を高めている姿に頭が下がる。教職員も授業力向上に努めている姿勢が見られ、更に「主体的・対話的で深い学び」に向けた指導方法に繋げていけたら素晴らしいと思う。 ・90点を一つの考え方とすれば、少々の改善を進めて行くことも必要だと思う。	・学校運営協議会委員の方からは、授業での先生方の表情や生徒との関わり方の変化が見られるという感想をいただいている。 ・授業改善により、生徒は定期テストや学力テストなどの数字には表れない力を身に着けてきているのではないかとご意見もいただいている。 ・今、公立の学校に求められているのは、思考力・判断力・表現力等を高める授業であり、それを保護者にも理解していただく必要がある。
		4 学校は、学力調査の結果を受けて具体的な学力向上策を検討し、指導にあたっている。	97.1%	89.5%	86.2%					
保護者や地域との連携	○学校の情報発信 ○保護者・地域との連携	5 学校は、各種たより・学校ホームページ・保護者連絡ツールtetoru等を通して、学校の情報を積極的に発信している。	96.6%	96.7%	93.1%	・各種たよりは学級通信から教科通信にいたるまで、数多く作成されていた。毎回楽しみにしている保護者もあり、学校の様子を伝えることができている。生徒や保護者からの反応は、作成する教職員にとっても励みになっていた。 ・学校ホームページが新しくなり、学校の日常の様子を含めて積極的に発信することができた。本年度から活用している保護者連絡ツールも活用することができた。	A	・学校評価の結果を受けて、改善を図る。 ・学校に関心がない方に対して、どのように働きかけていくかが課題である。本年度、学校公開を復活させたが、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの成長を見守っていくための取組を行っていく必要がある。	・学校は、学校評価や地域から寄せられる意見を真摯に受け止め、検討・改善を図られているので、素晴らしいと思う。これからも、地域に生きる生徒の姿を通して、地域の声が学校に届くような関係を大切にしていきたい。 ・生徒、保護者、教職員も認められている状況。無理をせずこの形を大切にしていきたい。	・学校から紙で配られたものが、保護者まで届かないという中学生としての実態がある。学校から出される手紙をtetoruで配信することにより、保護者へ直接連絡が届くようにする。 ・学校評価で出された課題について校内で検討し、改善を図る。 ・担任による授業参観、懇談会の実施を検討する。
		6 学校は、保護者や地域の意見を取り入れながら、学校づくりを進めている。	92.2%	92.8%	96.5%					
社会性・人間性の育成	○規律ある態度の育成 ○学校行事の充実 ○道徳教育の充実	7 学校は、あいさつ・言葉遣い・きまりを守る等、規律ある態度の育成に努めている。	96.3%	95.1%	89.7%	・生徒会が中心となり、月に一度のあいさつ運動を展開している。中学生が高校生や地域の方に挨拶する様子から、今後この活動が拡大していくことを期待している。 ・本校の生徒は、話を聞くべき時に静かにするのが上手である。そこから規律ある態度の高まりを感じる。 ・生徒と教職員が一体となって学校行事に取り組んでいる。体育祭後、生徒同士や生徒と教師の距離が一気に縮まった。 ・教師が交代でローテーション道徳を実施している。それぞれが工夫して授業を行っている。	A	・学校全体として、挨拶ができなくなっている印象がある。また、人を運んで挨拶をしている傾向があり、挨拶することの意義などについて改めて指導する必要がある。 ・学校行事の準備が、本来予定されている時間内に終わらない状況がある。行事の意義ややりがいについては十分理解しているが、それが本来の学習を阻害していないか見直していく必要がある。	・生徒自ら、地域の一員として意識している姿勢が見られる。 ・総合的な学習では、学習内容を工夫して取り組まれ素晴らしい。追求していく過程で生徒が地域を愛して生きる姿勢に繋がっている。	・あいさつ運動をしなくても心の込もった！上手な挨拶が交わされるようにする。挨拶することの意義等を丁寧に説明していく。 ・行事については、学校評価で高い評価を得ているが、行事の準備にかかる時間が膨大になっている。年間行事計画を見直し、無理なく教育活動を進めることができるようにする。
		8 学校は、感動や達成感のある学校行事、教育活動を展開している。	98.5%	97.4%	93.1%					
		9 学校は、自他を大切にすることを心や相手を思いやる心を育て、道徳教育の充実に努めている。	97.3%	93.1%	93.1%					
安心安全な教育環境	○教育相談体制の充実 ○安心・安全な学校づくりの推進	10 学校は、生徒や保護者の声に丁寧に耳を傾け、相談しやすい環境づくりに努めている。	92.7%	88.6%	96.5%	・担任等が生徒から丁寧に話を聞いていくことで、生徒が自分の気持ちを正直に話すことができ、解決に向かうことも多かった。 ・1学期の教育相談週間、2学期の三者面談を通して、生徒や保護者の思いを受け止め、指導に生かしていた。 ・安全点検を通して危険箇所についての共有を図り、事務室と連携して迅速に修繕等にあたることができた。	A	・給食時の配膳など、コロナ禍ほどの感染対策ができていない。 ・歴史ある学校であるため、施設の老朽化は否めない。修繕で対応しているが、場所によっては修理費用が高額になる可能性がある。	・教職員は、毎日多忙な中でも生徒の声に耳を傾けていると思う。今後とも他の専門機関や地域との連携を図って、一人一人を大切に教育していただきたい。 ・保護者についての形は色々な意見があり、また違いもある。全体の考え方を一人の先生ではなく、学校全体で考える必要がある。	・生徒や保護者に寄り添う気持ちを大切にする。 ・給食配膳時のマスク着用を呼びかける。
		11 学校は、校舎内外の施設設備などが、安全に使用できるように整備している。（感染防止対策を含む）	96.6%	94.2%	96.5%					

回答率 83.5% 66.5% 85.2% ※達成度：「A」ほぼ達成(評価結果の全てが9割以上)・「B」概ね達成(評価結果の全てが6割以上)・「C」変化の兆し(評価結果の全てが4割以上)・「D」不十分(評価結果の全てが4割未満)